

職場活性化につながるストレスチェックを実施するなら

# ストレスチェック 80 新職業性ストレス簡易調査票（80項目）

「職業性ストレス簡易調査票（57項目版）」に

／**職場のマネジメント**にも有効な3つのアウトカム（結果指標）を追加／

ワークエンゲイジメント

職場の一体感

職場のハラスメント※

※令和4年4月1日より労働施策総合推進法に基づく「パワーハラスメント防止措置」が中小企業においても義務化されました。

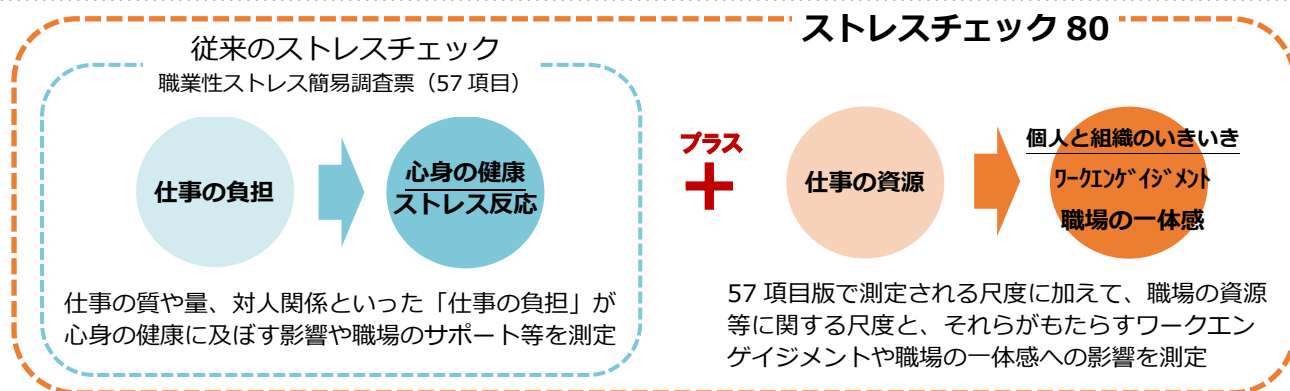
／**職場の環境**をより詳細に把握するための尺度を追加／

情緒的負担	役割葛藤	役割の明確さ	成長の機会	経済・地位報酬	尊重報酬
安定報酬	上司のリーダーシップ	上司の公正な態度	ほめてもらえる職場	失敗を認める職場	経営層との信頼関係
変化への対応	多様な労働者への対応	公正な人事評価	個人の尊重	キャリア形成	ワークセルフバランス

集団レポートは個人が特定されないよう集団統計的に処理された形で各集団の状況が把握できます。

10人以上のグループ単位（職場別、性別、年代別など）でお申し込みいただけます。

## ① 職場のポジティブな側面にも注目



ストレスチェック 80 では、「仕事の負担」といった職場にネガティブな影響を与える要因を測定することとどまることなく、作業・部署・事業場の3つのレベルで「仕事の資源」といったポジティブな影響をもたらす要因を把握し、それらが「ワークエンゲイジメント（仕事へのポジティブな心理状態）」や「職場の一体感」にもたらす影響について評価します。この視点は、個人と組織の活性化を促進するポジティブメンタルヘルスの推進につながります。

## ② 職場活性化のための職場環境改善の実現

集団レポートでは、集団（職場等）の平均値が偏差値等で示され、「全国平均」だけでなく、「前回」や「（事業場）全体の平均」と各集団を視覚的に比較できます。特にストレスチェック 80 では、従業員がいきいきとやりがいをもって生産的に働くために必要な指標が結果として可視化され、管理職が職場のマネジメントに活用できることがメリットです。

作業実態



集団レポートより得られる職場の「強み」や「課題」をメンバーと共有し、強みを活かし、課題を解決するアクションを行うことが、個人と組織のいきいきにつながります。

## ③ 従業員のワークエンゲイジメントを向上させ 健康経営 につなげる

従業員の健康管理を経営的な視点で考える健康経営では、従業員への健康投資を行うことで、従業員の活力向上や生産性の向上等の組織の活性化をもたらす、結果的に業績向上や株価向上につながると期待されます。

ストレスチェック 80 では、「健康経営度調査」の業務パフォーマンスの評価指標として示される「ワークエンゲイジメント」を測定することができ、健康経営の指標としてもご活用いただけます。

## ストレスチェック80の特典サービス

※以下のどちらかのサービスをお選びいただけます

### 担当者向け報告会

集団レポートをご依頼いただいた事業所様に、健康経営エキスパートアドバイザーの資格を有する保健師、もしくは、臨床心理士が無料で訪問し（1回のみ）、組織全体の結果について解説するとともに、今後の対策についてご提案いたします。

または

### 集団レポート読み方解説動画

集団レポートをご依頼いただいた事業所の担当者様を対象に、集団レポートの読み方を解説する動画を無料でご視聴いただけます。

集団レポートには職場活性化につながる有益な情報が多く含まれます。ぜひ集団レポートを深く理解し、職場の対策に役立ててください。

ストレスチェック80に変更すると、  
個人結果票も変更されますか？



個人結果票に変更はありません。追加された項目の結果は集団レポートにのみ反映され、集団レポートがより充実した内容に変更されます。

項目数が増えたことによって、  
高ストレス者に該当する人が増えますか？



高ストレス者を判断するための項目に変更はありませんので、項目数が増えることで、高ストレス者に該当する人が増えるようなことはありません。

経済産業省の健康経営度調査で、ストレスチェック80のワークエンゲイジメントの結果を使用したいと思っています。ストレスチェック80で使用されるワークエンゲイジメントはどのような尺度を用いて測定されていますか？



ユトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度の9項目版（短縮版）のうち、「没頭」を除く、「活力」「熱意」に関する項目から各1項目を用いて測定されています。

ストレスチェックは義務化されましたが、  
集団分析や職場環境改善の実施は事業場の義務でしょうか？



現在のところ、ストレスチェックの集団分析やその結果を踏まえた職場環境改善等の措置を講じることは努力義務ですが、50人以上の事業場の79.7%（令和3年労働安全衛生調査）において、「職場環境等の評価及び改善」に取り組んでいることが報告されています。

専門家による結果説明会のサービスがありますが、  
管理職向けに結果説明会を実施してもらうことは可能ですか？



オプション（有料）サービスになりますが、淳風会メンタルサポートセンターの臨床心理士が、個別のご要望に対応致します。

淳風会ではストレスチェックを活かした職場活性化をサポートします

連絡先

一般財団法人淳風会 淳風会健康管理センター 集団健診部 健診普及推進一課

TEL : 086-281-5050 (平日 9:00~17:00)

E-mail : stresscheck@junpukai.or.jp